2018年度 第二回常任幹事会 議事録

日時:2018年4月13日(金)

場所:大阪科学技術センター700 号室

出席者(順不同 敬称略): 辻(阪市大), 茶山(甲南大), 川崎(関西大学), 久保埜(大阪教大), 中原(和歌山大), 吉田(京工繊大), 牧(神戸大), 青山(島津), 高山(日鉄住金属テク), 永井(産総研), 西(京大), 森内(大阪工大), 糟野(龍谷大), 北隅(京大), 龍見(日本電子,代理), 中山(住電), 橋田(大塚電子), 久本(阪府大), 森澤(近大), 山口(阪薬大)

0. 近畿分析技術懇話会への入会案内と新幹事の確認

常任幹事会に先立ち、辻支部長から近畿分析技術懇話会の入会案内があった.一方、2018 年度支部役員を名簿に基づいて確認した.本部「ぶんせき」編集委員にある田中氏は、支部推薦の「ぶんせき」編集委員の間違いであること、また、参与の谷口氏の所属は、テクノエックスからクロスレイテクノロジーであることが、辻支部長から報告された.後ほど訂正される予定である.

1. 前回議事録の確認

辻支部長から、第1回常任幹事会議事録の確認があり、承認された.

2. 第1回幹事会の議事内容確認

辻支部長より、15時から支部講演会が予定されていることが確認された。

3. 本部理事会報告

辻支部長より、2017年度第6回理事会議事、2018年度第1回理事会議題(幹事会資料 No.

- 3) に基づき、以下の内容について報告があった。
- 日本分析化学会の代議員候補者名簿が、1月号に掲載されるべきところ、2月号に掲載された.この経緯について説明があった.加えて、「ぶんせき」4月号にて会長から釈明文が掲載され、法人会員からの推薦のとりまとめが遅れたことが原因であると報告された.分析化学会事務局長が、田巻氏から志智氏に代わったことも報告された.
- 2021 年 ICAS が JASIS と合同で幕張にて開催される予定であるため、同年の分析化学 討論会を近畿支部に担当してほしいとの要請があった。それに対し、年会開催のノウハウを継続するため、1年ずらして2022年に近畿支部が年会を担当する案を、近畿支部としては申し入れしている。

- 4月24日(火)に,第7回定時総会が開催されること,代議員に資料が配布されていることが報告された.
- 本部会計についての説明があった.貸借対照表の内訳表もつけるべきではとの意見に対して、内閣府への確認を行ったところ、必ずしも必要でないとの回答があった.正味財産は92,729円減であり、大幅なマイナスにはならずに推移していること、会費収入138万円減と会員の減少に歯止めがかかっていないこと、福島での原発事故に関連する標準物質の頒布が落ち着いたため354万の減収したこと、広告収入316万円減収に対して特集号への広告、広告を請け負っている明報社の見直し等が検討されていることが報告された. なお、支出に関し、会議費の537万円減については、代わりに賃借料として590万円増を計上されていることが説明された.
- 岡田会長直轄の元,ホームページタスクフォースが立ち上がり,学会のホームページ の刷新が予定されている. 辻支部長まで連絡があれば,4月の理事会で支部会員の意 見を反映させることが可能.
- 支部毎の決算報告が公開された. 各支部の決算状況については健全な状況にある. 近 畿支部の正味財産は、975万円程度.
- 本部財政を立て直すために企画された,本部主催の昨年度の年会(4日間,参加費値上げ)に関して,効果が総括されたかという質問があった.年会収入として1300万円程度(前年度と比べて約300万増)であり,本部主催の効果の検証が必要であるとの指摘された.
- 昨年の討論会から、参加費が値上げされたが、3月の理事会においては、この参加費 を継続する方向である.

4. 今後の各種事業計画の検討

(1) 常任幹事会・幹事会の開催日時・場所確認

幹事会資料 No. 9 に基づき,中原庶務幹事より 2018 年度支部事業計画(常任幹事会・幹事会)が報告され,異議なしで承認された.

(2) ぶんせき講習会

幹事会資料 No. 10 に基づき、川崎実行委員長より、2018 年度ぶんせき講習会について下記の報告があった.

- (発展編)11月30日(金)に決定
- Web で申込を一本化したが、問題なく運営できている.
- 申込状況:(基礎編その1)定員70名に対し申込者数37名,(基礎編その2)8名,(実践編)3名

(3) 支部講演会 WG

幹事会資料 No. 11 に基づき, 辻支部長から説明があった.

- 第1回支部講演会,司会:矢嶋氏,講演:山田先生,尾崎先生が予定されている.
- 第2回支部講演会 7月20日(日鉄住金テクノロジー), 見学会+講演会 講演:渡邊氏(日鉄住金テクノロジー)の他, 常任幹事にもう1件講演をお願いした いとの要請があった.

第3回,第4回支部講演会は,退職予定者の方にお願いする予定.近くで退職予定の 方があれば情報を寄せるよう,依頼があった.

(4) 提案公募型セミナーWG

幹事会資料 No. 12 に基づいて、高山氏から報告があった. 4月24日の提案公募型セミナーでは、現在のところ参加者が少ないため、参加要請があった.

(5) ホームページ&ニュース WG

幹事会資料 No. 13 に基づいて、永井氏から報告があった。

- 第 43 号を 4 月に発行し、4 名の新幹事を紹介する記事を掲載した。1 名に関しては、 掲載が間に合わなかったため、第 44 号に掲載する予定。
- 近畿分析技術懇話会の法人会員はぶんきんニュースに無料でバナー広告を掲載できる ので、このことを、周知したほうがよい.

(6) 若手セミナーWG

幹事会資料 No. 14 と常任幹事会資料 J2 に基づいて, 西氏から報告があった.

- 概要が説明された.
- 会告案(6月号掲載予定)および Web 参加申込案が提示された.
- 会告では書かれていないが、駅から会場へのチャーターバスは手配する予定.
- 久保埜氏から Web 申込フォーム内に,請求書の要否欄を設けたほうがよい,研究室でまとめて送ってくる場合があるので 65 周年記念事業のフォームで設けているような備考欄を設けた方がよいとの意見があり,検討することとなった.
- 要旨フォーマットについて質問があったが、申込フォームに行くまでのホームページ で要旨のテンプレートをダウンロードする等のやり方が可能との回答があった.
- 企業に新製品紹介講演(25分)や広告を勧誘するよう要請があった(締め切り5月31日). 現在,京都電子工業から広告を出していただけることになっている. 昨年度,広告7件,講演3件.
- 夏季セミナーの中部支部と近畿支部のスタンスの違いについて、質問があった. 西氏 から、企業との関係で両支部のスタンスが一部違う件については、今年度のみ両者が

歩み寄るが、定常的にする予定ではないと説明があった.

- 夏季セミナーの会計処理に関し、会計処理としては、どちらかの支部(今年度は近畿) にまとめるのかという質問があった、会計は近畿支部が担当するが、経費は両支部で 折半する予定であると西氏から説明があった。(おそらく、中部支部でも口座は必要)
- 本部への会計報告に関しては、常任幹事会後、検討することとなった.
- 中部支部と近畿支部で分担金が違うことについて質問があったが、取ってきた広告件数、福井コンベンションビューロからの補助等を勘案すると、妥当であるとの説明があった。

(7) 近畿支部 65 周年記念事業

幹事会資料 No. 15, 常任幹事会資料 No. J3 に基づき, 前田実行委員長から下記の通り近畿 支部 65 周年記念事業の報告があった.

- ポスター発表件数 100 件(1,2 件/研究室), 学生発表については表彰する.
- 来賓:岡田会長と,(近分懇会員を代表して)島津製作所分析事業部長またはアプリケーション開発センター長の予定)
- 支部内で貢献された方(事務局や講習会貢献者など)への感謝状の授与.
- プログラム概要は、常任幹事会資料 No. J3-3 のとおり.
- 会場・懇親会ともに大阪市大で行われるため、経費も削減できた. 広告をとらずに、 支部からの予算で経費を補填する.
- 常任幹事会資料 No. J3-3 の会告案(ぶんせき 7月号掲載予定)が承認された. 講演要旨 pdf 送付先として,「創和情報管理センター」の名前のみならずメールアドレスを追加 すること,一般企業からの申込を勘案してポスター講演数の制限等の文言は追加しないことが確認された.

ぶんせき 5 月号に、会告(簡易版)が掲載予定であることが、辻支部長から補足説明された.

久保埜氏より、Web 申込用フォーマット、要旨作成要領、要旨テンプレートが示された. 前田実行委員長より、近畿支部 65 周年記念事業は、通常学会ではなく、支部内で感謝を示す会であるので、会費は徴収せず、支部内の剰余金を還元する形となることが報告された. 主として、予算は印刷費として使われる予定である.

5. 2018 年度支部予算立案の件

牧会計幹事から、2018年度支部予算について報告があり、異議なく承認された.

6. 2018 年度支部役員選考委員候補者承認の件

辻支部長から,幹事会資料 No. 17 に基づいて,候補者の説明があり,異議なく承認された. なお,尾関氏については、理の分野から推薦されたことがある経緯もあり、代わって山本 氏(甲南大)が候補者として承認された.

7. 近畿分析技術研究懇話会

辻支部長より、今年度の個人会員の入会案内があった。中山会長より、近分懇奨励賞は、4 件応募があり、その中の2件が選ばれたことが報告された。

以上